

2024(令和6)年度 西部地区五大学共同開講授業科目「博多学」シラバス

授業科目名	博多学
開講年度	2024
開講学期	前期
対象学部等	全学部
対象学年	1～4
必修選択	選択
単位数	1 単位（現地見学+ 集中講義）
担当教員	<p>【九州大学】青木 博史 人文科学研究院 文学部門 教授 木島 孝之 人間環境学研究院 都市・建築学部門 助教</p> <p>【西南学院大学】藤永 豪 人間科学部 教授 伊東 未来 国際文化学部 准教授</p> <p>【福岡大学】渡辺 亮一 工学部 教授</p> <p>【福岡歯科大学】藤田 亜美 福岡歯科大学 細胞分子生物学講座 教授</p> <p>【中村学園大学】松隈 美紀 栄養科学部 教授</p>
履修条件	履修希望者数によっては、人数制限を行う場合がある。
授業の目的 教育目標	<p>「博多学」を通じて、みなさんが今まさに学んでいる土地が、どのような場であるのかを学んでいきましょう。地域に関する知識（歴史、文化など）や、地域で行われていること（習慣など）を知ること、地域に対する誇りを再確認することにつなげ、更にその誇りをグローバルに生きる「国際人」の自信として欲しいと願っています。</p> <p>以上のようなことから、みなさんの学習目標は大きく二つを考えています。</p> <p>ひとつは「博多」の魅力を自身の言葉で伝えることができるようになること。もうひとつは、地域を見つめる際にさまざまな視点が存在することを知ることです。</p>
授業概要	博多を博多湾や水事情および災害などの「自然」、対外交流、文化普及等の「歴史」、食文化、外来文化等の「文化」の面から考察する。
授業の進め方	<p>現地見学（4/27(土)、5/11(土)、5/18(土)、6/1(土)のいずれか1日に必ず出席すること）</p> <p>集中講義（8/20(火)、8/21(水)、8/22(木)の3日間）</p>

【授業計画：現地見学】

4/27(土)、5/11(土)、5/18(土)、6/1(土)のいずれか1日

4/27(土) 5/11(土) 5/18(土) 6/1(土)	<p>福博の歴史と文化探訪</p> <p style="text-align: right;">藤田 亜美 福岡歯科大学 細胞分子生物学講座 細胞生理学分野 教授</p> <p>テーマ</p> <p>神社・仏閣・記念館・遺跡などを現地見学し、歴史的・文化的背景を理解する。</p> <p>我々が現在生活しているこの福岡・博多の地域を実地見学します。座学ではなくて、地元に着した歴史・文化を「歩いて、見て、聞いて、触れる」ことを目的にします。現地見学体験を通じて、自分を取り巻く地域や社会の理解を深めることは、これからの学びに対する姿勢を変えたり、地域社会での貢献を考える材料になったりすると思います。一緒に学んでいきましょう。</p> <p>下記スケジュールから1回を選び、現地見学（土曜、10～11時頃から約6時間）に参加してください。</p> <p>4月27日「福博の歴史と文化を体験するイントロダクション」 ～中央区・城内、早良区・百道浜～ 鴻臚館跡遺跡展示館、福岡市博物館</p> <p>5月11日「古代の福岡博多の歴史や博多の食文化を体験する」 ～博多区・板付、東区・社領～ 板付遺跡弥生館、博多の食と文化の博物館「ハクハク」</p> <p>5月18日「福博における外来文化の受容・洗練および伝承を体験する」 ～博多区・上川端、冷泉、早良区・西新～ 博多町家ふるさと館、西南大博物館、元寇防塁跡</p> <p>6月1日「福岡の祭礼・アジアの玄関口としての福博を体感する」 ～早良区・高取、博多区・下川端～ 紅葉八幡宮、福岡アジア美術館、</p>
---	--

【授業計画：集中講義】

8/20(火)、8/21(水)、8/22(木)の3日間

8月20日(火)

8/20(火) 10:40～12:10 (90分)	<p>地形図にみる博多・福岡の地域変容</p> <p style="text-align: right;">藤永 豪 西南学院大学 人間科学部 教授</p> <p>現在、国土交通省国土地理院が発行する地形図は、国土全体をカバーするとともに、明治期から作成され、市街地の拡大や縮小、交通の発達、土地利用や自然環境の変容などについて視覚的に示してくれる有用な空間データである。本講義では、こうした地形図を読み解きながら、博多・福岡の地域的特徴について解説する。</p>
---------------------------------	---

<p>8/20(火) 13:00～14:30 (90分)</p>	<p>①博多の水資源と水循環 <u>渡辺 亮一 福岡大学 工学部 教授</u></p> <p>1 限目の講義では、福岡市内の水資源について考察し、福岡市の弱点である飲み水に関して、どのようにして福岡市民が水を得ているかを見つめなおし、流域治水を達成することで、水資源と洪水の両方を一挙に解決する方策を講義の中で考えていく。</p>
<p>8/20(火) 14:40～16:10 (90分)</p>	<p>②博多湾の水質環境について、「豊かな博多湾の再生を目指して」 <u>渡辺 亮一 福岡大学 工学部 教授</u></p> <p>2 限目の講義では、福岡市民が使った水が最終的に流れ込む博多湾に関して、現状の問題点とその解決策について解説を行い、豊かな博多湾の再生のために何が必要かをお話します。</p>

8月21日(水)

<p>8/21(水) 10:40～12:10 (90分)</p>	<p>「唐入り」の時 — 豊臣政権による博多町復興と筑前立花山城大改修の史的意味 — <u>木島 孝之 九州大学人間環境学研究院 都市・建築学部門 助教</u></p> <p>豊臣政権は九州平定戦の終了と同時に、戦火で荒れた博多町に「太閤町割」を施して復興を進めた。そして、国内最大の巨封大名毛利氏の一門で執政の小早川隆景を筑前国主として九州に強引に入封させ、同氏の居城に指定した立花山城（戦国期以来の大友氏の筑前国支配の最大拠点）を当期最新鋭の「織豊系縄張り」技術で大改修させた。この一連の挙動は、秀吉が関白就任直後の天正13年9月に近臣一柳直末に示した「唐入り」構想が、大言壮語と思われた段階から現実味を持った作戦行動として、まさに始動段階に入ったことを意味した。</p>
<p>8/21(水) 13:00～14:30 (90分)</p>	<p>①博多の郷土料理と食文化 <u>松隈 美紀 中村学園大学 栄養科学部 教授</u></p> <p>古くから東アジアに開かれた玄関口として発展を続け、多くの歴史遺産や豊かな郷土文化を今に受け継いできた博多（広い意味での福岡市）について学び、その地域周辺で食されている四季の郷土料理を通して、歴史や文化（食文化）、生活、年中行事、国際交流、産業を理解し、地元食材の知識や大切に使う心を養い、地域社会やグローバル社会において、自分の言葉で博多の歴史や食文化について、人に説明することができる事を目的とし、以下の講義を行う。</p> <p><博多の郷土料理と食文化>① 郷土料理を生み出す要素 1. 気候・風土 2. 歴史 3. 宗教 4. 教育</p>

<p>8/21(水) 14:40～16:10 (90分)</p>	<p>②博多の郷土料理と食文化</p> <p style="text-align: right;">松隈 美紀 中村学園大学 栄養科学部 教授</p> <p>本授業は、古くから東アジアに開かれた玄関口として発展を続け、多くの歴史遺産や豊かな郷土文化を今に受け継いできた博多（広い意味での福岡市）について学び、その地域周辺で食されている四季の郷土料理を通して、歴史や文化（食文化）、生活、年中行事、国際交流、産業を理解し、地元食材の知識や大切に使う心を養い、地域社会やグローバル社会において、自分の言葉で博多の歴史や食文化について、人に説明することができる事を目的とし、以下の講義を行う。</p> <p><博多の郷土料理と食文化>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博多の正月料理 ・博多の四季（春・夏・秋・冬）の料理 ・博多の祭り料理 ・博多の朝食とおもてなし料理 ・昔ながらのおやつ ・郷土料理とは
--	---

8月22日（木）

<p>8/22(木) 10:40～12:10 (90分)</p>	<p>戦争・ジェンダー・負の遺産—引き揚げ港・博多から考える</p> <p style="text-align: right;">伊東 未来 西南学院大学 国際文化学部 准教授</p> <p>博多港はかつて、第二次世界大戦終戦時に、アジア諸国を中心とした海外に残っていた日本人が帰国する「引き揚げ」の、最大の玄関口のひとつであった。</p> <p>この講義では、引き揚げ港・博多やそれに関連する二日市保養所などの当時の施設の歴史を学ぶことを通じて、戦争とジェンダー、負の遺産や記憶の継承の困難などについて、履修者と共に考える。</p>
<p>8/22(木) 13:00～14:30 (90分)</p>	<p>変容する博多方言</p> <p style="text-align: right;">青木 博史 九州大学人文科学研究院 文学部門 教授</p> <p>博多方言といえば、「～バイ／～タイ／～クサ」などが有名ですが、若い世代は使っていません。だとすると、博多方言は消滅していくのでしょうか。実は、伝統的な方言が使用されなくなる一方で、多くの新しい言い方も生まれています。本講義では、方言の「変容」という観点から、その動態を観察してみたいと思います。</p>
<p>成績評価の方法等</p>	<p>各大学の担当教員は、評価を受けるにあたって必要な出席回数を満たしている学生について、実地見学および授業中に課した振り返りシート・最終課題等を総合的に勘案し成績評価を行い、大学は単位を認定する。</p>